

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス スリーエーチャーム		2024年12月 18日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動に合わせた環境設定を行っている	安全に配慮したレイアウトが必要
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		安全に行うために人員を多めに配置している	利用数が増えたときのために、今後も採用の募集を続けていく
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	トイレ、静養室など表記をして、わかりやすくしてある	階段があり、手すりなどもないため 今後はバリアフリー化をしていく必要がある
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日必ず、掃除、除菌を行っている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		常に子供たちが安全で過ごせる場所を提供している	部屋数が2つのため、パーティションなどで区切り、場所を増やすことも検討
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		ミーティングを実施している	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			ミーティングを行って随時行っていく
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングを実施している	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後は外部評価を行い、改善に繋げていく
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内で研修を行い、スキルアップに努めている	今後も多くの研修を行っていく
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPIに公表	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者と密にコミュニケーションをとり、こどもからニーズを引き出せるように話の場を作っている	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理者が主になり、会議で他の職員の意見も取り入れている	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ミーティングで常に確認をしている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			確認が常にできていないので、今後は必ず確認し、支援に繋げていく
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ミーティングを行い常にチームで行っている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		全職員で意見を出し合い、常に新たなプログラムを考えている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子供の状況を常に考え、支援を考えている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ミーティングを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		ミーティングを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		常に支援記録を記録している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、常に見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		現場の職員も会議に参加し、こどもの状況をより詳しく説明できるようにしている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		現場の職員も会議に参加し、こどもの状況をより詳しく説明できるようにしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		ケース会議に積極的に参加し、連携して支援を行っている	対象者なし
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			対象者なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			助言を受ける機会を今後は多く作っていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			地域の中で他の子供と活動する機会がないためそういう機会を増やしていく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			今後は積極的に参加していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に必ず、保護者に状況をお伝えしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			家族等の参加できる研修を行っていないので今後は研修などを行っていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		常に保護者の意見や要望など話をきき、意向を確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		説明を行い同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時などに、情報共有をして必要に応じて面談などを行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会が実施できておらず、 今後は保護者同士で交流ができる行事を 企画していく	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		LINEを用いて常に保護者との連絡がとれる ようにしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の管理は徹底している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		常に安全で安心の環境を作っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			行事に地域住民を招待していないため 地域と関われるような行事を計画する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		訓練を定期的に行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		避難訓練を行っている	非常災害に備えて、再度備品など 確認をする
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用前に事前に保護者に確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者と確認して、おやつを提供を行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全を常に意識して取り組んでいる	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		常に連絡が取れるようにLINEを用いて 安全について連絡がとれるようにしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故などが起きた場合はすぐに、 ヒヤリハットを行いミーティングで 共有している	再発防止のために、定期的に確認をする
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を行い、 適切な対応ができるようにしている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				